



- 1 安山岩の貫入岩体 山伏山 MAP C-2**
約220万年前～150万年前、陸化した関田山脈や中津川・志久見川上流部で起きた火山活動によって山伏山を含む東頸城丘陵の山並みの頂部がつけられました。山伏山は固い火道部分が残りの姿になったとされ、山体を構成する安山岩は魚沼層群に貫入したもので柱状節理が形成されています。
- 2 中条川上流の崩壊地形 MAP C-2**
信濃川左岸の東頸城丘陵地域は、約260万年前～220万年前頃の古日本海の海岸線付近でした。そのため泥層、砂層、礫層、火山灰層、亜炭層などの地層が見られ、これらを魚沼層と呼びます。このような地質のため地すべりが多く、長野県北部地震(2011.3.12)の際も大規模な地すべりが発生しました。
- 3 森宮野原駅最高積雪7.85mの標柱 MAP C-2**
昭和20年、森宮野原駅付近で最高積雪7.85mを記録しました。2階建ての屋根まで雪が積もり、電線をまくことができたそうです。飯山線白鳥～森宮野原間は日本海から近いため(約30km)積雪量が多いと考えられます。現在でもJRの管轄する駅では日本一です。
- 4 小滝・四ツ廻りの滝と運河跡 MAP B-2**
千曲川が大きく蛇行している「四ツ廻り」は、関田山脈ができた後、大規模な山体崩壊による地滑りで千曲川がせき止められ、形成したと考えられています。川原では鳥甲山や毛無火山の山崩層岩でできた魚沼層群の固い凝灰角礫層が層り窪められた掘削(運河)や模孔、船を曳くための定か穴が確認されています。
- 5 天代の露頭 MAP C-3**
天代には、約43万年前から現代までの地層を観察することができる貴重な露頭があります。地層の間に挟まっている全国各地から飛んできた火山灰の降灰年代からその上下にある地層の年代を知ることができます。
- 6 中野の無斑晶ガラス質安山岩の露頭 MAP C-4**
約100万年前に噴火した毛無山の溶岩の中には、「無斑晶ガラス質安山岩」と呼ばれる黒く光る岩石が含まれていて、中野に大露頭があります。この岩石は加工しやすいため、古くから建築材料として使われていたため、石器時代や縄文時代の人々が加工して槍や矢じり、釜などを作り使用していました。
- 7 中津川右岸の河岸段丘 MAP E-2**
河岸段丘は地球規模の気候変動を背景に中津川の水位がよりつくれた階段状の地形です。河岸段丘は全国で見られますが、一番高い(古い)谷山段丘が約40万年前につくられ残っていることと幾段もの段丘を一望できることが苗場山麓の特徴です。空の展望台(MAP D-2)・川の展望台(MAP D-2)から見る事ができます。
- 8 美穂の露頭 MAP E-2**
最も古い谷上段丘上に位置し、約40万年前から現在までの堆積物を確認する事ができます。下層には黒雲母を含む「バイオタイトローム」があり、当地域から発掘された縄文土器には黒雲母が酸化して金色に変化したものが含まれており、土器作りなどにこの土を利用していたことが分かります。
- 9 苗場溶岩流からの湧き水 龍ヶ窪 MAP D-2**
魚沼層からなる沖ノ原台地と、その上の苗場山の溶岩台地の境には湧水が点在し、その一つが龍ヶ窪です。雪や雨は溶岩台地に浸み込みますが、魚沼層の水を速く、その境から湧水となります。平均水温7～10℃、湧水量は池の水が1日に入れ替わるほどです。神秘的な行末に龍神伝説も残っています。
- 10 苗場溶岩流の柱状節理 石落とし MAP D-3**
この岩壁は上部が苗場山の溶岩、下部がこの地域の基盤である魚沼層群です。溶岩は中津川両岸で観察でき、かつては繋がっていましたが中津川が約30万年前に侵食し、柱状節理が露けになりました。春に雪や水と一緒に柱状節理が崩れ、音を立てて落ちることから「石落とし」という名がついたそうです。
- 11 見玉の古型マンモス白歯化石の産地 MAP D-3**
見玉の川原では、約115万年前群馬県榛名山付近の噴火で飛んできた上越火山灰(SK030)が見られ、これより上の層から、古型マンモスの白歯の化石が発見されました。古型マンモスは、120万年前頃中国大陸から渡ってきて約70万年前まで生息していたとされ、体の大きさは約4mだったと推測されます。古型マンモスの歯の化石は縄文と縄文の体験学習館にも展示されています。
- 12 笹葉峰の大崩壊 MAP E-3**
笹葉峰の北西側は地すべりによる北西～南東方向で約2.5km、北東～南西方向で約1.5kmもある崩壊地形です。崩壊は1.5万年前から5,000年前頃に起きたと推測され、苗場山の溶岩層とその下の魚沼層群からなる多量の崩壊物は中津川をせき止め、一時は湖ができたと考えられます。
- 13 逆巻の川原と狼狽橋 MAP D-4**
当地域で一番古い地層は、約1,800万年前～1,500万年前の日本海ができた頃の地層で、結束層と呼ばれます。逆巻の川原では、「千体仏像」と形容される柱状節理の発達した結束層が見られます。付近には鈴木牧之の『秋山記行』に描かれた狼狽橋があります。
- 14 苗場溶岩流と鳥甲溶岩流の柱状節理 逆巻の大窟 MAP D-3**
岩壁部分は上部が苗場山、下部が鳥甲山の溶岩からなり、溶岩部分は急造のため植物が生育しにくく、各溶岩上に堆積した土には植物が生育しています。そのためめには岩壁と紅葉のコントラストが美しい「屏風岩」となります。「窟」とは、切り立った崖を意味します。
- 15 シン穴の柱状節理 MAP D-4**
萌木の里の裏側にある柱状節理の発達した岩壁は、鳥甲山の溶岩です。雪崩により崩壊した岩壁は、この地層の白土が透けて見えるのが特徴です。「シン」とは「アオジシ(カモシカ)」のことで、カモシカのぬくがあることからこの地名がつけられました。
- 16 鳥甲牧場と湖成層 MAP C-4**
鳥甲牧場から五宝木に下る道端に褶曲模様のある火山灰層が露出しています。この地層は五宝木湖成層と呼ばれ、白色細粒火山灰とシルト層の互層が見られます。このことから鳥甲牧場がある広大な平地はかつて湖であったことが推測されます。
- 17 前倉橋の結束層 MAP D-5**
前倉橋は中津川谷にかかる新湯の橋50選のひとつ、苗場山麓で一番古い結束層(約1,800万年前～1,500万年前の日本海ができた頃の地層)に属します。秋には岩と赤い橋が紅葉に彩られ、撮影スポットとなります。
- 18 蛇淵の滝 MAP D-5**
長野と新潟の県境にある硫黄川と中津川の合流点のやや下流に位置し、結束層の固く変質した玄武岩によって高さ約10mの滝が流れています。猿が丸木橋でこの淵を渡り戻ると、その丸木橋は実は大蛇だったという話が残っています。
- 19 布岩山の柱状節理 MAP D-5**
長い布を何枚も垂らしたように見えることから布岩山と呼ばれます。布のように見えるのは大きな柱状節理で、その幅は1.5m以上あり下からの眺めは圧巻です。この布岩山は鳥甲山の火山活動によって形成されました。昭和30年代には、旧豊田村(現中野市)の人々が石を3円代に買付け切り出していました。
- 20 大瀧の滝 MAP D-5**
苗場山の登山道沿いにある落差約15mの滝で、滝壺をそのまま近くまで近づけることができます。苗場山の溶岩を削り、当地域で一番古い結束層の中のエ玄武岩の水冷破砕溶岩(ハイアロクラスタイト)と呼ばれる固い岩石が滝を形成しています。
- 21 苗場山の高原湿原 MAP E-6**
苗場山は第IV期の噴出物によって9合目から山頂までは平らな地形が続いています。そこには約700haの高原湿原が広がって約3,000箇所の池沼が点在しています。堆積物の調査からこの池沼は、約7,000年前から形成されたもので、その背景には多雪化があったと考えられています。
- 22 上野原の風穴 MAP D-6**
上野原集落入口近くの岩壁の隙間から冷風が流れ出しています。この岩壁は「エラクボ火山岩」と呼ばれ、約500万年前の海底火山の活動期に隆起して浅い海や陸上になったところから噴出したものです。冷気の速度は夏場でも約10℃で、外気温との温度差により、その周辺のみ霧が発生することもあります。
- 23 上野原の溶結凝灰岩の露頭 MAP D-6**
上野原には鳥甲山の噴出物である溶結凝灰岩の露頭があります。溶結した火山砕層岩の一種で、軽石がぶつれて紫がかった灰色ののびたレンガ状になって並んでいるのが特徴です。溶結凝灰岩は虎の模様に見えることから虎斑石とも呼ばれます。
- 24 鳥甲山の筋状地形 MAP C-6**
鳥甲山は標高2,037m、約80万年前3回の噴火によって形成されました。白歯山―劔刀岩―鳥甲山―赤倉山―布岩山の連山を「鳥甲火山」と総称します。雪崩による侵食地形が目立ち、この雪崩路はアランチュートと呼ばれ、雪がない季節は削れればぼんぼん岩が露出しています。
- 25 屋敷の凝灰岩層 MAP D-6**
新第三紀中新世中期から後期に湖だった所に堆積しと推定される凝灰岩の地層です。中津川左岸の大露頭があり、対岸の和山から見る事ができます。和山から小赤沢にかけての中津川沿いに分布し、層厚は100m以上あります。
- 26 夫婦滝 MAP D-7**
雑魚川と魚野川の合流点から下流に約1kmの岩壁にかかる二筋の滝。夫婦滝と呼ばれ切明橋の上から下流に向かって右岸奥に見ることができ、新緑や紅葉の時期には、二筋の白い流れが背景に映える美しい滝です。
- 27 切明温泉の源泉湧出点 MAP D-7**
切明では川原で温泉が湧出しています。河床を掘るとおよそ56℃(Ca・Na―塩化物、硫酸塩類)の温泉が湧き出します。川の水を引き入れて調節し野天風呂を楽しむことができます。この地は、鈴木牧之の『秋山記行』にも「湯本」と呼んで温泉宿などが描かれています。
- 28 鬼沢火砕流の堆積物 MAP C-7**
鳥甲山の第II期溶岩であり、白色のざらざらした石英安山岩(デイサイト)の火山砕層で、溶結している部分もあります。雑魚川の支流鬼沢の中流から下流および高山山の勘五郎の滝付近に見ることができ、秋山道沿い、布岩山中腹にも分布しています。
- 29 雑魚川の大滝 MAP B-6**
雑魚川の上流、村道秋山線沿いの切明から約6kmのところを位置する滝です。苗場山麓で一番古い地層である結束層の堅い変質した安山岩質の凝灰角礫岩が流れる滝です。落差約25mの2段になった美しい滝で、近くまで遊歩道が整備されています。

苗場山麓ジオパーク Naebasanroku Geopark

サイトマップ

- ジオパーク案内板・説明板
- 観光案内所
- 火焔型土器
- モニュメント
- 展望台
- 道の駅
- 温泉
- 公共トイレ
- 多目的トイレ
- 自然歩道・登山道
- ガイド同伴できないと入れません

見学時の注意事項

- 落石や足場の悪い場所での転倒にご気を付けてください。
- 植物や鉱物は採ったり持ち帰ったりしないでください。
- カマヤサルなど野生動物にご注意ください。
- ゴミはお持ち帰りください。
- 自転車の運転は、カーナビが誤って案内する場合がありますのでご注意ください。



歳時記

- 4月中旬～下旬 長瀬カタクリ開花
- 4月下旬 中子の桜開花
- 5月上旬 秋山郷オオヤマザクラ開花
- 5月上旬 秋山郷見玉のカタクリ開花
- 6月1日 山開き(苗場山・鳥甲山・佐武山)
- 6月下旬～8月 苗場山の高山植物見頃
- 7月下旬～8月中旬 津南ひまわり広場
- 9月下旬～10月初旬 苗場山の高山紅葉見頃
- 10月中旬～11月初旬 秋山紅葉見頃
- 花などの見頃は気候により変動します。観光協会へお問い合わせください。



歳時記

- 4月中旬～下旬 長瀬カタクリ開花
- 4月下旬 中子の桜開花
- 5月上旬 秋山郷オオヤマザクラ開花
- 5月上旬 秋山郷見玉のカタクリ開花
- 6月1日 山開き(苗場山・鳥甲山・佐武山)
- 6月下旬～8月 苗場山の高山植物見頃
- 7月下旬～8月中旬 津南ひまわり広場
- 9月下旬～10月初旬 苗場山の高山紅葉見頃
- 10月中旬～11月初旬 秋山紅葉見頃
- 花などの見頃は気候により変動します。観光協会へお問い合わせください。

苗場山麓ジオパーク 拠点施設・資料館

- 鷹と縄文の体験学習館 なしもん E-1**
企画展示や「縄文」展「縄文」自然などの体験メニューもたくさん。本物の縄文土器に触ることができ、竪穴住居を復元した縄文ムラもあ。ジオパークコーナーでは様々な情報収集が可能。入館無料。●月曜日・12/28～翌年3/10 ●025-765-2882
- 津南町歴史民俗資料館 E-2**
秋山郷の山村生産用具として重要な民俗文化財1,686点を、国指定重要文化財の堂平遺跡の火焔型土器、新潟県指定文化財の沖ノ原遺跡出土品など考古資料を収蔵・展示。●月曜日・12/28～翌年3/10 ●025-765-2882
- ニュー・グリーンピア津南 E-3**
温泉・スキー場などを併設した大型宿泊施設。ジオパークコーナーではタッチパネルでジオサイトなどの検索が可能。標高850mの展望台からは「石落とし」などを一望。(展望台へのリフト運行期間は問合せ) ●025-765-4611 http://www.new-greenpia.com
- 秋山郷総合センターとねんぼ D-5**
秋山郷にある観光案内施設。地産地消やタタキの民具などが展示されているほか、ジオパークコーナーでは、立体模型で苗場山の地形を観察することができます。入館無料。●月曜日・12/28～翌年3/10 ●025-767-2202
- 栄村震災復興記念館「絆」 C-2**
東日本大震災の翌日未明に震度6強の強い地震が栄村を襲った。地震直後の対応から避難生活、多くの支援による復興の様子などを写真や証言映像で展示。未曾有の災害を忘れないために伝承するための防災学習施設。入館無料。●月曜日 ●0269-87-2200
- 栄村歴史文化館ごらっせ C-2**
栄村の美しい自然の中、これまで書らした歴史を伝へ、さらけの美しい村暮らしを共に参観する施設。縄文土器や民具を収蔵・展示。入館無料。●月曜日 ●0269-87-2100